

## あいち森と緑づくり事業の概要

## ア 趣旨

森と緑の持つ様々な公益的機能の発揮のため、森林、里山林、都市の緑の整備・保全を進める上では、公共を中心とした森林・里山林整備事業や都市緑化事業とともに、県民や地域との協働による取組（ローカルアクション）の広がりが重要である。

このため、近年高まっている NPO やボランティア団体など多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や、日常生活の中で次第に失われつつある森林とのふれあいなどを体験・学習する機会の提供を通じて森と緑を社会全体で支えるという機運を醸成する環境学習を支援し、その取組の一層の進展を図る。

## イ 事業内容

生物多様性の保全、水源涵養、二酸化炭素の吸収・固定などの多様な機能をもつ森と緑について、保全のための自発的な活動、あるいは森と緑を社会全体で支えるという機運を醸成することにつながる環境学習に関する取組に要する費用を交付する。その際、多様な主体の参加により、それぞれの地域の特性や多様なニーズに応じ、地域の自主性や創造力を活かした活動として促進することが重要であることから、市町村や NPO 等を対象とした企画提案型の事業として実施する。

## ① 森・緑の育成活動事業

里山・里地や水辺等において、多様な生態系の保全や、ふれあいの場の創出など、健全な緑を保全・育成するため継続的に実施する事業に要する費用の一部を交付する。

例：間伐や除伐とその再利用、草刈り、植樹 等

## ② 森・緑の育成活動の取組立ち上げ事業

前述の取組を新たに立ちあげるために必要となる事業費用の一部を交付する。

例：里山整備計画作成、保全活動協定締結 等

## ③ 水と緑の恵み体感事業

森林の水源涵養機能や人を始めとした生物が享受している水の恩恵を学ぶ事業に要する費用の一部を交付する。

例：水源の緑を訪ねる現地見学や生活体験を通して水と緑の恵みを学ぶエコツアー 等

## ④ 森林文化の体験・学習事業

山村と都市の交流を通して地域の森林文化を体験・学習する事業に要する費用の一部を交付する。

例：森林保全等で活動している河川上流域の NPO 等が培ってきた文化等を生かした学習メニューに基づく環境学習講座 等

## ⑤ 森林生態系保全の学習事業

森林生態系の保全の大切さや手法を学ぶ事業に要する費用の一部を交付する。

例：間伐材を利活用したビオトープ作り、森林作業体験、自然観察会、

工作教室などを通じた環境学習 等

⑥ 太陽・自然の恵み学習事業

地球温暖化の防止やヒートアイランド現象の緩和に役立つ緑（植物）の生育を通じた太陽や自然の恵みを学ぶ事業に要する費用の一部を交付する。

例：小中学校の児童・生徒を対象とした「緑の教室」（実施内容：①植物の生育実習（「緑のカーテン」設置のための種まき・生育観察等）、②植物（緑化）の恩恵と大切さに関する環境学習講座）の開催） 等

⑦ 独自提案による環境保全活動・環境学習事業

創意工夫を凝らした独自の生物多様性に関連した環境保全活動・環境学習事業に要する費用の一部を交付する（他の事業に該当するものを除く）。

ウ 全体計画

7つのメニューの合計で500件

エ 事業主体

市町村

NPO、ボランティア団体、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、自治会、私立学校 等